

令和 5年度予算見積調書

課室名: 先端産業課

担当名: 推進担当

内線: 3737

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P48	コア技術新活用！多角化支援事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費	
事業期間	令和 5年度～ 令和 7年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	11 1101	稼げる力の向上 新たな産業の育成と企業誘致の推進	SDGsゴール 9 SDGsターゲット 9-5
1 事業概要 事業の多角化や業態転換を考えている製造業がBtoCの商品作りを通して、新たな価値創出への挑戦を支援する。 ・自社の技術をどのように生かすか模索している事業者 に、技術の棚卸し等の支援を行う。 ・事業の多角化を加速度的に進めるため、企画・開発から販売までトータルで支援し、販路の多チャンネル化を行う。 コア技術新活用！多角化支援事業 11,067千円				5 事業説明 (1) 事業内容 高度な技術力を持つ県内企業に対し、自社技術を活用した新たな製品の開発を外部の視点や専門的なマーケティングなどのノウハウを活用し、企画段階から試作・製品化まで一貫してサポートすることで、BtoC市場へのアクセス機会の創出を支援する。 (2) 事業計画 ア 事業期間 令和5年度～令和7年度 イ 事業対象 県内中小企業 ウ 達成水準 BtoC向け製品の製品化 エ 内容 (ア) 自社製品開発セミナー、体験ワークショップの開催 (イ) 支援企業の募集、採択 (ウ) 製品開発支援(製品の企画、試作等) (エ) 販路開拓支援 (3) 事業効果 価格決定権を持つ自社ブランド製品を開発することで企業の稼ぐ柱の多角化を図ることができる。 また、この取り組みをきっかけに、企業の知名度が向上することでBtoBにおいても新たな取引案件の獲得につながる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 産業技術総合センターと連携して実施する。 新たな製品の開発やマーケティングにあたっては、外部の専門的なノウハウを活用して実施する。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	11,067							11,067	11,067
前年額	0							0	

事業内訳書

事業名	コア技術新活用！多角化支援事業		
単位事業名	コア技術新活用！多角化支援事業	予算額	11,067千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	31	31	委託事業者審査謝金 2人分
役務費	3	3	資料送料
委託料	11,000	11,000	事業委託 (採択企業への開発支援、セミナー実施等のための経費)
使用料及び賃借料	33	33	審査会場使用料 1日分
合計	11,067	11,067	